

2025 年 3 月 19 日

14 : 00 ~ 16 : 20

Zoom 開催

司会：山田 時代 副会長（新潟）

議長：小山 恒弘 会長（新潟）

出席者：20 名

日本代協 雨宮理事

長野代協 中澤 駒澤 桐島 山口 竹内 5 名

群馬代協 中田 星野 久保田 中島 高野辺 田中 6 名

新潟代協 小山 高橋 小川 山田 鈴木 庄田 桑原 木村 8 名

新潟代協 齋藤（事務局）

議事録作成者：新潟代協 高橋副会長、事務局 齋藤

議事録確認者：長野代協中澤会長 群馬代協中田会長

### 挨拶（小山会長）

3 月 14 日、日本代協臨時総会 金融庁との意見交換会が行われました報告が日本代協事務局の金澤様から届いております。

先週は臨時総会から金融庁との意見交換会まで、お疲れ様でございました。

会長懇談会の中で 3 名の会長さんにご紹介いただいた、現地での意見交換会実施、そして金曜日の下井保険課長との意見交換会実施に対して、金融庁監督局保険課の佐藤・生保モニタリング長から、御礼のお電話を頂戴しましたので皆様にもご報告します。

「直接話をお聞きすることで、気づくことがたくさんありました。お忙しい中ご対応いただいた皆様に、よろしくお伝えください。」とのことでした。

我々代協会員が、きちんとお客様と向き合って仕事をしていることを、よくご理解いただいているからこそ、御礼の言葉をいただけたのではないかと思います。

会員の皆様にも、金融庁から御礼の言葉があったことをお伝えいたしたいと思います。

金融庁との関係を更に深めていくよう、事務局も努力を重ねていく所存です。

引き続きよろしくお願ひ致します、との事でした。

その他代理店賠償の件ですがここ近年対応件数が増え、2023 年度では 1300 件の相談中実際対応されたのが 202 件との事です。このまま増え続けると引き受けに影響が出てきそうだという事で代理店賠償セミナーを会社のコンプラ研修と捉えてほしいという事です。

### 挨拶（雨宮理事）

皆様年度末お忙しいところお集まり頂きましてありがとうございます。小山会長からご案内があった通り、今年度最後のブロック協議会の開催となります。来月の 4 月で私の理事在任期間も 6 年目に入ります。代協活動をしていて 5 度目の年度末を迎えていますがこんなにゆっくりと迎えられた年度末は無かったかなと思います。それは皆様のお力で非常に速いタイミングで各県 3 冠確定となっていただいたからです。例年であれば会員増強、あと何人足りない走り回っている時期であります。ブロック、各県の皆様の努力でしっかりと組織化されて動きははじめてきた成果だと思います。この態勢をしっかりとキープしていただき、育てていただきたいと思います。先ほど小山会長からご報告があった全国会長懇

談会での金融庁下井保険課長との意見交換会の報告でもお分かりのとおり、当局は我々代協に対して極めて暖かい視線でみていただいています。これは私たち代協会員がひたむきに誠実にお客様と向き合ってきたことに対する評価です。私たちは自らの活動に誇りと更なる責任を持ちましょう。本年度2回目の活力研が行われましたが、手数料ポイントと保険会社と保険業界の信頼に向けて討議しております。議事録と前回好評をいただいた解説動画ももうすぐ配信されると思います。また昨年11月に金融商品の販売に関する法律が改正され、あらゆる金融業者はお客様に最善の利益を勘案しつつ誠実かつ公正に対応しなければならないという「最善利益義務」があらゆる金融事業者に横断的に適用されました。なぜこの義務ができたかという、顧客本位の業務運営の原則が制定されて久しいのですが、これの浸透定着が難しく名ばかりで実効性が伴っていないという実情から、顧客本位の業務運営の原則だけでなく、更に根本的な最善利益義務として原則から義務に変化したのです。義務ですので当然違反があれば問題となるでしょう。そして当局の監督や監査も最善利益義務が基礎となるでしょう。私たち保険代理店も金融サービス提供者ですので、例外なくますます大原則である体制整備、顧客本位の業務運営を推進していかなければなりません。是非代協からの情報をご活用していただき、これに対応できるようにブロック協議会含め代協活動を通じて勉強していただき、強い体制を作っていきたいと思います。今年度最後のブロック協議会、長丁場となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

## 審 議

### □審議事項 公開セミナー・人材育成について（資料②を参照）

新潟代協小川副会長から、上信越ブロックの活動を公開セミナーと必須にせず、聞いてもらいたい物があった場合手上げ方式で開催すること、一般の方が参加したいセミナー（無理に声掛けの集客では意味ない）、体験型の集まり等でもいいのではないかと提案があった。

審議の結果、公開セミナーにこだわる必要はない、公開セミナー以外の体験・参加型の取り組みでも良い事と決まった。 **賛成17名 保留1名**

また、手上げ方式で手が上がらなかった場合は3県で順番に回す事については、今まで通り手が上がらなかった場合は順番で行う事とする。 **全員賛成 18名** （2025年度 群馬、2026年度 新潟）

人材育成研修会開催を2年では頻繁過ぎる、同じ人が何度も参加している現状、経費面からみても2年ではなく4年での開催を日本代協に提案する事を審議した結果、今まで通り2年の開催とし日本代協には提案しないと決まった。 **賛成7名、反対11名**

**新潟・桑原組織委員長**> 一般社団法人という組織にこだわり消費者へのセミナーに。一般社団法人として大事。

**群馬代協中田会長**> 群馬代協では4.5年前防災に関するセミナーを開始しました。防災士、自治体、議員、また講師の話を知りたいという一般の方で総勢160名ほどの参加者がいました。何年に1回という意識でやっていかないと、手上げ方式だと全くやらないようになる可能性がある。主催代協を決めた方がいいのではないかと。公開セミナーにはこだわらない。

**長野代協中澤会長**> 持ち回りだけで開催するのはなく、ブロックとしての方針、テーマがあってもいいのではないかと。→次年度協議する。

## 報 告

### □報告事項 1

3 県会長からの現状と課題についての報告は下記の通り

代協名 会長名	現状と課題
長野代協 中澤純一	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・1月24日、第3回理事会開催。終了後、新年会開催。 開催に先立ち、日本地震再保険株式会社 管理部部長 小布施様を招いての勉強会を実施。</li><li>・2月1日：中信・諏訪支部合同セミナー開催。 テーマ「避難所運営を体験してみよう」</li><li>・3冠 仲間づくり…8/7→目標達成 コンサルティングコース受講者…22/16→目標達成 ぼうさい探検隊…6/5→目標達成</li></ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・70周年記念事業開催。</li><li>・支部構成の在り方を模索する→該当支部へのヒアリング。規約の見直し。</li></ul>
群馬代協 中田全一	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 正会員増強について 7代理店の新規加入目標は達成できました。その内6代理店が日新社でありました。今年度は日新社の代理店に助けられた感じですが代理店の合併、廃業などがあり今後は組織率の向上が課題になります。</li><li>2. トータルプランナーの受講者募集は27名の募集があり目標を達成しました。ここ最近では人数も多い申込でありました。申込状況を分析して次年度に繋げていきたいと思えます。</li><li>3. 代協アカデミーは2代理店の導入でまだまだ少ない状況です。新規加入者などに推進していきたいと思えます。</li><li>4. ぼうさい探検マップコンクールは5件の応募があり目標達成しました。防災士資格を持った会員が地域の子供会への働きかけ等がありました。</li><li>5. 防災士資格取得の推進は次年度も予算を立てて行っていく予定です。すでに資格を取得している会員は地元市町村の防災訓練への参加や災害ボランティアセンターとの連携をしている会員がいます。</li></ol> <p>公開セミナーについて 開催 群馬代協 開催時期 未定（2025年9月から11月） 講師予定者 （株）群馬プロバスケットボールコミッション （群馬グレインサンダース） 代表取締役 阿久澤 毅 氏 予算 講演料、会場費用、チラシ作成等 40万円</p>

新潟代協 小山恒弘	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 今年度の3冠は各委員長の努力のおかげで無事達成できました。</li> <li>2 組織の面で会員増強はできたものの退会者が9件ありました。退会者の内訳は合併5件、廃業3件その他1件です。</li> <li>3 今年度9月6・7日防災国体が新潟で開催されます。各役員の協力を得て参加したいと思います。</li> <li>4 今年度開催の防災セミナーの記録動画が損保協会で作成していただきました。事務局へ案内を送信しますのでご確認ください。</li> </ol>
--------------	--

◇3 県会長の報告後の質問

新潟代協・高橋副会長>長野代協の「避難所運営を体験してみよう」のセミナーは一般の方はどのくらい参加されましたか。素晴らしい活動だと思います。

→長野代協・中澤会長

今回はPR不足だったため一般の方の参加人数は少なかったようだが、経費がかからない活動ですので非常に宜しいかと思えます。

長野代協・中澤会長>ぼうさい国体はどのような形で参加されるのですか。

→新潟代協・鈴木 CSR 委員長

今回10回目になるのですが、内閣府等が主催している防災イベントで、日頃から行っている防災活動を発表します。ブースは小さいですが400位出店されるようです。

→長野代協・中澤会長

機会があれば是非おじゃましたいと思います。

□報告事項2

4 教育委員長からの現状と課題についての報告は下記の通り

委員会名 委員長名	現状と課題
組織委員会 山口哲也 (長野代協)	<p>○仲間づくり進捗状況(2月25日現在)</p> <p>新潟:11店(退会5店) 群馬:8店(退会3店) 長野:8店(退会6店)</p> <p>○1/22 第5回日本代協組織委員会(山口出席)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間づくり進捗状況・見込み確認</li> <li>日新火災代理店の新規入会の影響もあり、全国的に好調</li> <li>・代理店賠償勉強会「トラブルを未然に防ぐためには」</li> <li>保険業法に基づいた基本的なプロセスに従い、代理店の体制を整備し、顧客にしっかりと情報提供を行い、確認作業を丁寧に行うことが重要</li> <li>・25年度「±0以上キャンペーン」開催予定</li> <li>・グループ討議</li> <li>「会員増強に向けてやらなければならないこと」</li> <li>「どうやって代協を楽しくするか」</li> </ul> <p>○2/25 ブロック委員会(WEB)</p> <p>上記、日本代協組織委員会の内容を共有。</p>

	<p>代理店経営の変革期→代協としての代理店支援の在り方・やり方次第で入会メリットを感じる代理店が多くいるはず。</p> <p>群馬：日新火災支店長に紹介依頼。全代理店にメール送信。目標達成。</p> <p>新潟：目標達成後も保険会社訪問など仲間づくり推進。</p> <p>SJ26 年度手数料ポイントにトータルプランナーの在籍者数を導入。</p> <p>SJ 代理店が仲間づくりのターゲット？</p> <p>長野：日新火災代理店入会が大きく影響し目標達成。</p> <p>兼業・企業代理店に代理店賠償加入を求める保険会社。</p>
<p>企画環境委員会 田中孝司 (群馬代協)</p>	<p>1/14 第4回企画環境委員会</p> <p>4/8 第1回企画環境委員会</p> <p>不公正募集疑義案件の報告について依頼</p> <p>価値向上策の周知</p>
<p>教育委員会 木村修一 (新潟代協)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月24日第4回日本代協教育委員会へ出席し、コンサルティングコースの受講者数と代協アカデミー加入者数の現状を報告しています。</li> <li>・2月14日締め切りのコンサルティングコース目標受講者数は上信越ブロック各県ともにクリアしました。</li> <li>・代協アカデミーについて日本代協教育委員会では加入者数の減少問題で新コンテンツを未加入代理店へ視聴して頂くように各県連へ協力を依頼しました。</li> <li>・各ブロックの教育委員長より教育委員の業務負担が多く、本業にかなり影響が出ている事について今後の課題になりそうです。</li> </ul>
<p>CSR委員会 南雲正 (群馬代協)</p>	<p>1月17日 日本代協 CSR 委員会 開催</p> <p>日本損害保険協会 業務企画部 啓発教育グループ寺島課長参加</p> <p>ぼうさい探検隊マップコンクールについて報告と協議</p> <p>2025 年度第 22 回ぼうさい探検隊マップコンクール</p> <p>チラシの配布と募集開始</p> <p>地震保険の啓蒙／サイバーリスクに関する周知／</p> <p>出前授業・出前講座への取組の推進・</p> <p>4月17日 日本代協 CSR 委員会予定</p>

組織委員会 → 3月19日現在 群馬代協 9店入会、8店退会  
山口委員長補足 新潟代協 12店入会、9店退会

全国に目を向けると多くの代協で退会の方が多い中、上信越ブロックは3県ともプラスなのでこのままで今年度終えたい。

代協として代理店への支援の在り方、やり方を考えて会員増強にもつながるようなことを考えて行きたい。

企画環境委員会 → ジギョケイの好事例が出てきていますので、各県で好事例・好取組があれば  
田中委員長補足 報告をいただきたい。富山代協では4つの価値向上策を冊子にまとめて全会員に郵送し周知するという取り組みをされています。価値向上策は、群馬でもなかなか導入されないのですが、募集人が少ない代理店でも取り組める内容もあるので、

検討いただきたい。不公正募集に関しては、全国的に報告が増えています。上信越ブロックでは新潟のみで群馬長野からは出ていません。些細な事でもよろしいので何かございましたら報告をお願いします。

4/8の企画環境委員会では新潟代協の不公正募集の報告を致しますが、改めて不公正募集報告、価値向上策の周知を各代協で行ってほしいと思います。

教育委員会 → 教育委員会のコンテンツPDの役割も担っているのですが、その中で新コンテンツ木村委員長補足 → コンテンツを作成するにあたり、代協活動を自社業務に反映し積極的に取り組んでいる代理店を選定しご紹介する新コンテンツを考えています。選定材料となる活動内容としては、出前講座の実施、ぼうさいマップ作製活動、ジギョケイ、BCP、社労士診断の活用、地域貢献、リスク管理などです。一つでも積極的に活動されている代理店のご紹介よろしくお願いたします。

CSR委員会 → 長野：献血、交通安全10名  
鈴木委員長補足 群馬：献血7.80名参加 交通安全基金継続  
新潟：ぼうさい国体 お祭りであり横との繋がりを作る目的

### □報告事項3

#### 公開セミナーの概要報告 群馬代協 中田会長

開 催：群馬代協

開催時期：12月の土曜または日曜 大会の進み方次第に変更

開催場所：太田市の体育館

講 師：(株)群馬プロバスケットボールコミッション (群馬グレインサンダース)  
代表取締役 阿久澤 毅 氏

予 算：講演料、会場費用、チラシ作成等 40万円

セミナー内容；2部構成

1部は地元の小学生の群馬グレイサンダースのコーチによるバスケ教室

2部に阿久澤氏の講演

講師紹介：桐生高校出身 夏の高校野球4番で甲子園に出場経験有、群馬大学進学野球の指導者  
59歳の定年退職時に(株)群馬プロバスケットボールコミッション社長に就任  
野球の指導者からバスケット、公務員から経営者と異色な指導者

## □報告事項 4

人材育成研修会の事業方報告・予算案 長野代協 桐島副会長

### 1. 目的

損害保険代理業務に携わる人材のスキルアップ、知識の向上、業界全体の発展を目指す。

### 2. 講義内容

1日目は講義、2日目はディスカッション形式を予定

以下のいずれかのテーマにあった講義を検討中

代協活動の現状と課題、歴史等

保険契約者との信頼関係を築くためのコミュニケーションスキル

法改正や最新の保険商品知識

クレーム対応とリスクマネジメント

デジタル化時代に対応した営業戦略

### 3. 日程と場所

日時: 令和7年9月19日(金)13:30集合 ~ 20日(土)11:30解散

会場: 佐久一萬里温泉ホテル

〒385-0051 長野県佐久市中込3150-1

TEL : 050-1807-3701

<https://breezbay-group.com/saku-ichimanri/>

### 4. 講師

日本代協理事 雨宮豊氏

日本代協アドバイザー 栗山泰史氏

### 5. プログラム構成(仮)

時間	内容	講師/担当者
1日目		
13:30 - 14:00	受付	東信支部役員
14:00 - 14:20	開講式	
14:20 - 15:20	セミナー①	雨宮氏
15:20 - 15:30	休憩	
15:30 - 17:00	セミナー②	栗山氏
17:00 - 18:00	1日目終了・休憩	
18:00 - 20:30	懇親会	全員
2日目		
9:00 - 10:00	ディスカッション	雨宮氏・栗山氏
10:00 - 10:15	休憩	
10:15 - 11:15	ディスカッション	
11:15 - 11:30	閉講式 解散	

## 6. 予算計画

### 予算項目:

日本代協 500,000円  
 上信越ブロック協議会 300,000円 合計800,000円

### 費用項目:

会場費  
 参加者費用(懇親会費・宿泊費・交通費)  
 \*参加人数 各県6名(会長+5名)×3県=18名、講師栗山氏、来賓雨宮理事、  
 開催地会員(東信支部)8名他 合計30名程度を想定  
 講師謝礼  
 資料印刷費  
 参加者飲み物  
 予備費

## 上信越ブロック人材育成セミナー 収支予算書(案)

(収入の部) <単位:円>

科目	摘要	予算	実績	増減
日本代協		500,000		500,000
上信越ブロック協議会		300,000		300,000
収入合計		800,000	0	800,000

(支出の部) <単位:円>

科目	摘要	予算	実績	増減
会議室使用料	1日目(13:00~17:00)	44,000		44,000
プロジェクター使用料		13,200		13,200
横断幕	H500cm×W3600cm	17,600		17,600
懇親会費	6,700円×30名	201,000		201,000
宿泊費	シングル禁煙 7,200円×20室	144,000		144,000
入湯税	150円×20名	3,000		3,000
会議室使用料	2日目(9:00~12:00)	33,000		33,000
プロジェクター使用料		13,200		13,200
講師謝金	日本代協講師	26,937		26,937
講師謝金	源泉徴収税10.21%	3,063		3,063
講師手土産代		10,000		10,000
参加者飲料	30名×2日分	10,000		10,000
参加者交通費	(会長+参加者5名)×3県、講師等	200,000		200,000
資料印刷代	資料、名札等	5,000		5,000
予備費		76,000		76,000
支出合計		800,000	0	800,000

## 7. 事後フォロー

アンケートを実施し、参加者からのフィードバックを収集。  
 次回の研修会に向けて改善点を検討。

新潟代協・山田副会長>人材育成と言いつつ年配の方の参加者が多いので、ターゲットを定めてし  
 っかアプローチしてほしい。前は土曜日に帰ってしまう方がいらした。  
 社長ではなく従業員が参加される場合は、土曜日出勤を好まない人が増え  
 てきているので、働き方改革含め若手が参加しやすい対処が必要。



□報告事項 5

2025 年度上信越ブロック協議会予算案 新潟代協 小山会長

2025年度上信越ブロック協議会				
収支予算（案）				
収入の部		支出の部		
勘定科目	金額（円）	勘定科目	金額（円）	2024年度
①ブロック対策費	1,060,000	ブロック協議会会場設備費2回分	10,000	13,800
		ブロック協議会飲み物代2回分	6,000	44,582
②公開講座開催費	200,000	ブロック協議会旅費交通費2回分	400,000	382,820
群馬代協 100,000 円		ブロック協議会事務局費	132,000	132,000
新潟代協 100,000 円		公開講座等関係費（群馬代協）	400,000	566,835
		公開講座等関係費（新潟代協）	100,000	100,000
②人材育成研修会	530,000	人材育成研修会（長野代協）	800,000	5,720
長野代協 530,000 円		予備費（両替他）	0	
		支出計	1,848,000	1,245,757
		余剰金（戻し入れ額）	▲ 58,000	14,243
収入計	1,790,000	合計	1,790,000	1,260,000

新潟代協・小山会長 > 公開セミナー、人材育成研修会の予算案の額だと▲58,000円赤字予算スタートとなる為、内容の見直しを検討してほしい。  
 人材育成 会長+5名 ⇒ 4名にして予算減など提案  
 人材育成については、参加した事の無い方に参加してほしい。

日本代協・雨宮理事 > 人材育成については毎回同じ人が出ているので人選は難しいのは理解している。  
 2024 年度の新入会員 17 名に参加いただけるように声をかける。

新潟代協・桑原理事 > 会費が足りないから人を減らすのは違う。  
 何のためにするか、それに意義があるから予算を付けてやるだと思っているので予算オーバーだから参加人数を減らすというのは意味が無い。  
 参加人数の 5 名の根拠の説明をしてほしい

新潟代協・小山会長 > 参加人数の決まりはない。前回の人材育成を参考にして今回も会長+5名と提案されている。日本代協からの人材育成の予算額は 53 万円と決まっています要望を出せば増えるわけではないので、出来るだけ上信越ブロック協議会の予算内で収まる様に計画をして頂きたいという思いと、長年開催してきた、人選、参加いただく大変さ難しさがあるのでご理解いただきたい。

長野代協・中澤会長 > さきほどの土曜日出勤の件も含めて参加しやすいように上信越ブロックで統一して決めた方がいいのではないかと。

※人材育成研修会については、各県で話し合い、3 会長で絞り込んでいく事にする

## □報告事項 6

### 日本代協 雨宮理事

- ・2025 年度上信越ブロックの対策費は 106 万、人材育成 53 万  
公開セミナーの補助金は今年度同様（1 代協 1 件 10 万円 3 代協 3 県 30 万、3 代協合同 10 万）
- ・ブロック協議会の在り方について改めて認識を揃え、共有する為にブロック長懇談会を年 2 回開催することになった
- ・代協が実地する代理店ベンチマーク研修は、参加者が保険会社の枠を超えて、セミナーではない生の経営を学べるとともに、代協の素晴らしさを実感する取組である。参加者同士の一体感が醸成され、代協を運営する活力が生まれる。若手会員の育市江に最適な取組でもある。  
その取り組みを支援するために、ベンチマークの対象となるような会員情報を、代理店経営サポートデスクを中心に収集、提供できる体制の構築を目指す。
- ・財務委員会からの報告として、3000 万円の赤字予算の予定、このままだと 5 年度キャッシュアウトになる。2025 年度から 500 万円ずつ削減し、2031 年度に収支均衡を実現する。
- ・代理店サポートデスク室長候補者は岸哲郎氏
- ・12/16 に第 1 回監事会が行われた
- ・日本代協アカデミー展開として、新たなコンテンツが増えているので、トップページをご確認いただきたい。
- ・日本代協総会の規則改定として、総会運営規則第 1 項の改定総会出席票の事前送付を規定する。  
改定後の運営規則文言「総会に出席する社員は、総会出席票を事前に送付する。」  
総会運営規則第 2 項を削る。
- ・日本創倫（株）とのアドバイザー業務委託契約を年間 30 万円、web 監査システム利用許諾契約を年間 20 万円とし、合計 50 万円を支払うこととしていた。2024 年度にはアドバイザー業務委託契約を終了したが、web 監査システム利用許諾契約は継続し、20 万円の支払いを実施した。
- ・PlanDo について、上信越ブロックの書き込みはしっかりしている。引き続きお願いします。
- ・功労者表彰の選考基準について、「原則として功労者の年齢は 65 歳以上」という年齢条件は維持する。ブロックで 1 名のみ推薦は「原則として」という文言を付け加える。「国民年金基金加入者の増強」については選考基準に残す。表彰施行規則第 3 条第二号による表彰を削除する案を理事会にあげることに魅力研で決まった。
- ・会員資格について各県どのようにしているか。今一度確認が必要
- ・代理店の業務品質を考えるにあたり、①法令遵守②損保協会で定める業界共通③各社独自に代理店に求める品質基準④代理店独自のブランド価値ともいえる品質基準。①から④にレベルが上がるイメージである。

□2025 年度上信越ブロック協議会開催日

6 月 26 日（木）リアル開催（長岡市中之島文化センター予定）

9 月 25 日（木）リアル開催（長岡市中之島文化センター予定）

12 月 18 日（木）zoom 開催

3 月 19 日（木）zoom 開催

□閉会挨拶（群馬代協 中田会長）

2024 年度最後の上信越ブロック協議会お疲れ様でした。3 代協とも「3 冠王」を達成することが出来ましたことは大変喜ばしいことです。会長をはじめ各委員会の皆様が一生懸命取り組んだ成果です。また今から 2025 年度に向けての種まきをしていくことも大事なこととなると思います。そして人材育成研修会、公開セミナーにつきましても概要が発表され 2025 年度も活発な活動が出来る様に皆様、頑張っていきましょう。以上をもちまして閉会とさせていただきます。